

東北地域みどりの食料戦略システム戦略推進Webセミナー

剪定枝のバイオ炭施用による 土壌炭素貯留の取り組み



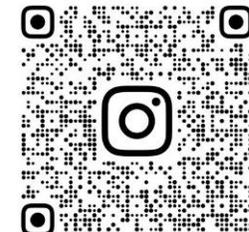
令和8年2月18日

だて「農」情報（伊達市農政課）

Facebook



Instagram



伊達市の概要

位置



人口**55,004**人
(R7.12末現在)

特産物

冬

Winter

あんぽ柿
ANPO PERSIMMON

伊達市
生産量日本 **1位**

あんぽ柿は鮮やかなオレンジ色の果肉と、トロリと柔らかくゼリー状の中身が特徴。美しい自然の中で天日に干されたあんぽ柿は冬の果実の代表選手

シャインマスカット
SHINE MUSCAT

伊達市
生産量県内 **1位**

強い甘みと芳醇な香りが特徴で、皮ごと食べることができるため、年配の方からお子様まで幅広い人気

秋

Autumn

伊達市
生産量日本 **1位**

夏秋きゅうり
SUMMER-AUTUMN CUCUMBER

夏秋きゅうりはみずみずしく、さっぱりとした食味。夏秋きゅうりの生産量が日本一を誇る伊達市は、きゅうり本来の旨味を味わえる名産地

春

Spring

ゆうやけベリー
YUYAKE BERRY

伊達市
生産量県内 **1位**

大粒で3L規格以上の果実割合が高く、形も良く、色は橙色がかった鮮やかな赤色であることが大きな特徴。味は、ほどよい酸味で甘さが際立ち、香りが強く感じられる福島オリジナル品種

あかつき
AKATSUKI

伊達市
生産量県内 **2位**
※福島県の桃生産量は全国2位

福島の桃は盆地の特性である寒暖差によって皮の桃色が濃く、また他産地よりも桃の収穫までの生育期間が長いためにじっくりと育ち、甘みが強く、果肉が締まっているのが特徴

夏

Summer

■ 基幹的農業従事者数の推移

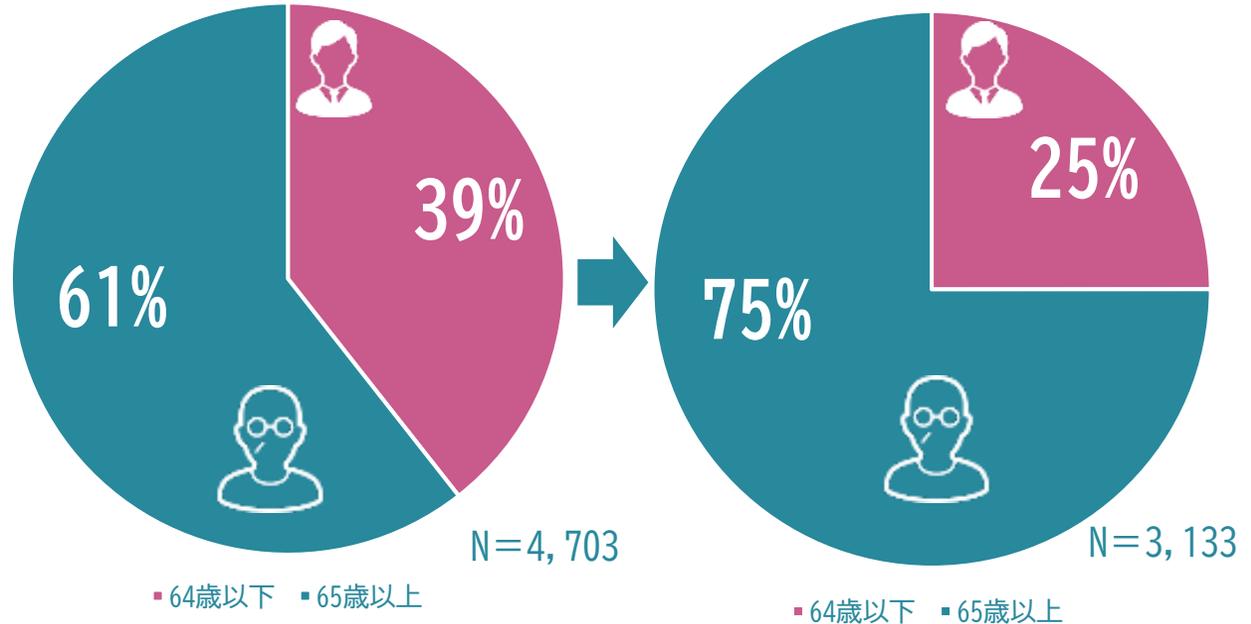


	従事者数	人口
平成22年	4,703人 (総人口の約6.9%)	67,684人
令和2年	3,133人 (総人口の約5.2%)	59,741人

【世帯数】 出所：国勢調査

平成22年度

令和2年度



果樹地帯を持続可能なものにしていきたい。

高齢化が進む中、生産現場で困っていることは何か？



果樹の支援策の検討～実施

果樹生産者の現状とニーズを把握するため、アンケートを実施。複数の企画と財源確保に取り組む。

STEP 01



現状

- 生産量の推移
- アンケート実施

STEP 02



ニーズ調査

- 生産現場で困っていること
- こういうのがあれば助かること

STEP 03



企画・事業形成

- ニーズに応えられる対策検討
- 財源確保
- JAや関係機関の理解醸成

STEP 04



実行

- 段階を踏みながらの事業展開
- 課題の把握と改善

部会	会員数	(うち役員数)
モモ生産部会	601名	45名
あんぼ生産部会	528名	42名

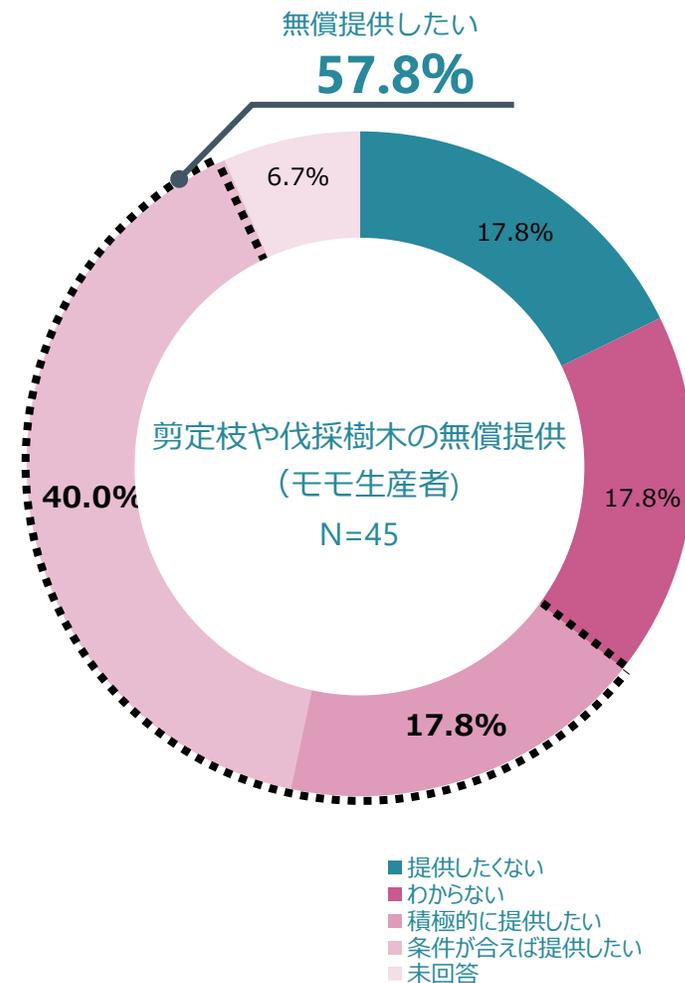
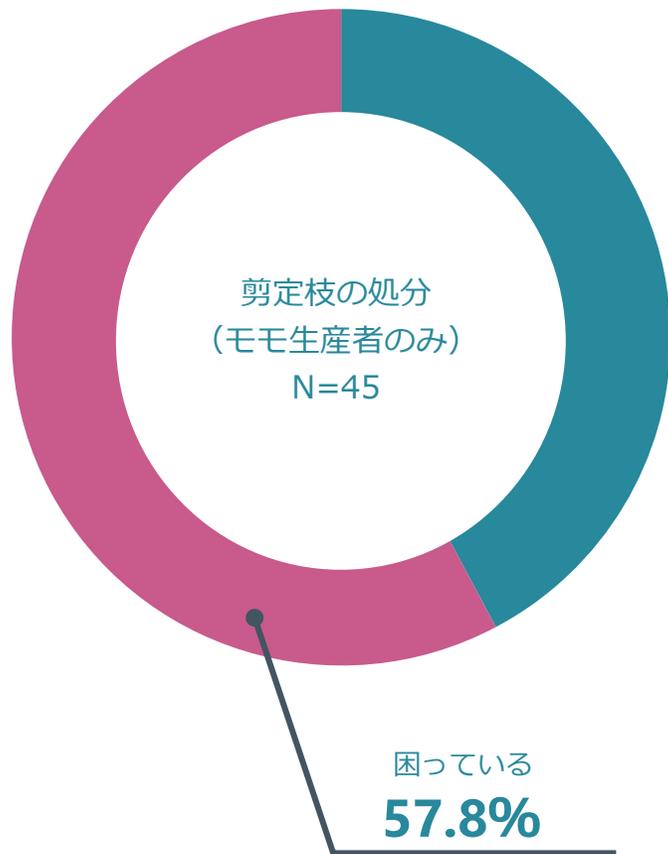
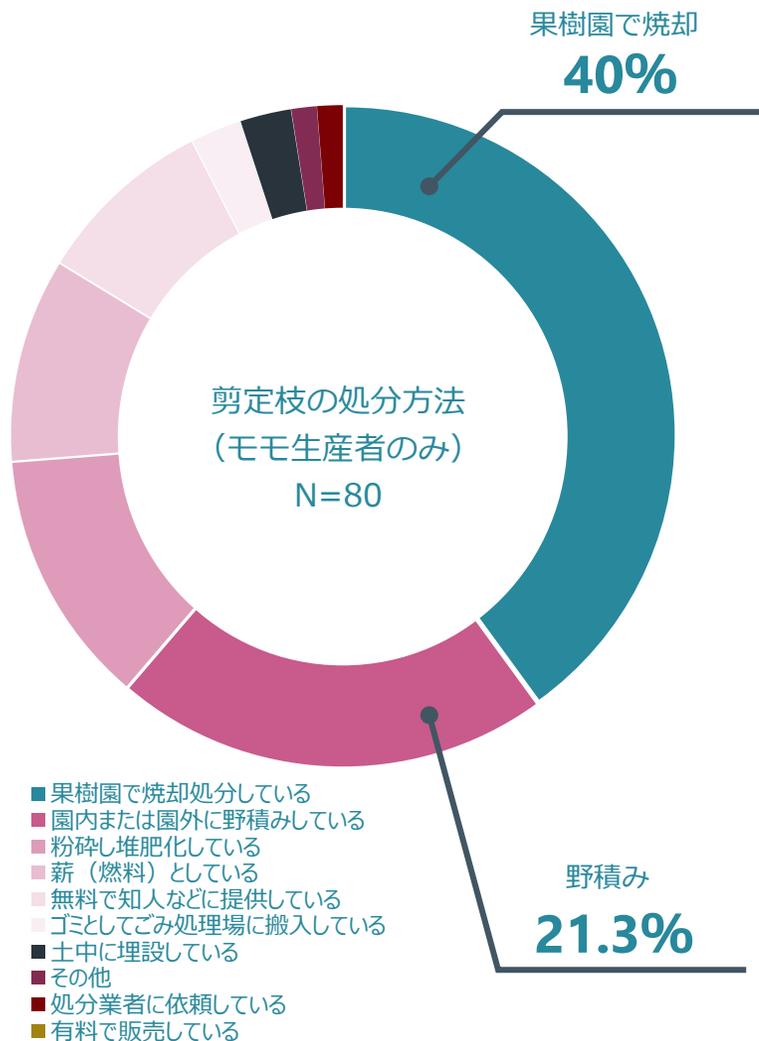
回答**64**名 (回収率73.6%)

構築だけでなく、**生産拡大**に向けた作業の検討



果樹の現状（アンケート調査結果 抜粋）

予想以上に剪定枝に関する労力と処分に苦慮していることが判明。



果樹生産者に対する3つの支援策

アンケートを踏まえ、3つの事業を形成。段階的に事業展開

果樹剪定枝・薪ストーブ等 活用推進事業

「剪定枝」を「薪」として使用する方のもとへ
無償提供

枝を薪として

この枝無償で譲ります。
その枝ください。
マッチング

提供者 (枝の処分に困っている農家)
利用者 (枝を譲り受けたい人)

STEP1

「申込書」提出

以下の専用フォーム、または裏面の専用申込書でお申し込みください。

STEP2

市役所から名簿が送付

利用者(枝を譲り受けたい人)は提供者(枝の処分に困っている農家)へ連絡し、受取可能な日程を調整します。

STEP3

「薪」の受け渡し

伊達市 お問い合わせ先 伊達市産業部農政課

無煙炭化器貸出事業

果樹剪定枝を「バイオ炭」へ

無煙炭化器

最大14日間無料貸出

バイオ炭による土壤改良効果
バイオ炭を土に混ぜると、土の保水性・透水性・通気性を高め、植物の生育を助けます。木炭は土壤改良剤として使用が認められており、生物性・物理性・化学性の観点から、効果が期待できます。

いずれか1セット貸出

直径150cmセット	直径100cmセット
生成量：450ℓ/回 寸法：直径148cm×高さ45cm 重量：23kg	生成量：150ℓ/回 寸法：直径98cm×高さ34cm 重量：7.2kg

貸出対象者

- 市内に住所又は農地を有する果樹生産者または農業法人
- 地域の果樹産業の維持及び発展に向けた活動を行う農業者団体
- 町内会や伊達市民等により構成された環境保全活動等に取り組む

伊達市 お問い合わせ先 伊達市産業部農政課

無煙炭化器購入補助事業

剪定枝を炭に変え、土壤改良材へ

無煙炭化器購入補助

果樹剪定枝等を炭に変え、保肥力を高める土壤改良材として施用することで、化学肥料の施用低減を図る取り組みを支援

補助額 購入費 **50%** 上限 **10万円**

対象製品

炭化器	火消し蓋	耐熱作業台	耐火作業棒
果樹の剪定枝を効率良く炭にできます。CO2固定、温室効果ガス削減、土壤改良等に活用できます。	蓋を使うと水をかけずに炭化ができます。	炭化の熱から地面を守る耐熱作業台。炭や灰をしっかりと受け止め、延焼や地面の焼け付けを防止。	熱くなった炭や燃え殻を安全に扱うことができます。柄が長いので火から少し離れたところでも使用できます。

対象者は、次のすべてを満たす方

- 伊達市内に住所を有する果樹販売農業者等
- 市税の滞納がない方
- 令和7年11月4日から令和8年1月31日までの間に炭化器等が納品支払いを終える方

伊達市 お問い合わせ先 伊達市産業部農政課

令和6年9月スタート

令和7年3月スタート

令和7年11月スタート

果樹剪定枝・薪ストーブ等 活用推進事業

無煙炭化器貸出事業

無煙炭化器購入補助事業

概要

- 剪定枝を利用したい方（利用者）」という方と「不要な果樹剪定枝等を引き取ってほしい方（提供者）」をマッチングする

- 無煙炭化器の無償貸出
- 2基（大中サイズ各1基）
- 貸出期間：最大14日間

- 価格高騰が著しい化学肥料の施用低減につなげ、営農者の負担軽減を図るため、無煙炭化器購入の補助
- 補助額：購入費用2分の1
上限10万円

対象者

- 剪定枝が欲しい者（利用者）
- 市内の果樹生産者（提供者）

- 市内に住所若しくは農地を有する果樹生産者又は農業法人、地域の果樹産業の維持及び発展に向けた活動を行う農業者団体

- 市内に住所を有する果樹販売農業者、指定の日までに炭化器等が納品され、販売業者に対する支払いが完了する者

実績

- 利用者24人
- 提供者18人

- 大サイズ11件
- 中サイズ7件
- ※令和7年3月から12月下旬

- 24件

大サイズ	11件、	蓋	9件
中サイズ	13件	蓋	13件
焼き台	5件		
野焼き棒	7件		

不安解消の取り組み

農家（園地施用・枝提供）や利用者（枝利用・消費者）の不安を解消したい・・・

福島原子力発電所事故の影響による放射性物質を心配する声も聞かれたことから、事業開始前に市内5エリアから薪や剪定枝を採取し、専門機関による放射性物質検査を実施することで不安解消を図った。

放射性物質検査結果

品目	採取	測定結果
桃	薪、剪定枝	指標値以下
柿	剪定枝	指標値以下
ぶどう	薪、剪定枝	指標値以下
りんご	薪	指標値以下

測定基準値は
「林野庁 平成23年11月2日付23林政経第231号 調理加熱用の薪及び木炭の当面の指標値の設定について」参照



写真：採取した剪定枝等

取組の効果

- 農家の剪定枝の処理作業の軽減が期待される。貸出しを行った農家の反応としては、「容易にバイオ炭が作れるようになった。」との意見が多数。
- バイオ炭を土に混ぜると土の保水性・浸水性・通気性を高め植物の生育を助けるなど土壌改良効果が期待される。
- 環境負荷を軽減すると同時に、地域の持続可能な社会構築に向けた重要な一歩となっている。

今後の展望

- 令和8年産においても「果樹剪定枝・薪ストーブ等活用推進事業」と並行して、「無煙炭化器の無料貸出」を実施
- 無煙炭化器の活用事例や長期的なメリットを広く周知するため、講習会やイベントを関係機関と積極的に実施。
- 剪定枝活用と炭化器の導入による環境保全効果を明確に示し、事業をPRする。

